

私たちにできることを

白石区女性サークル連絡協議会

女性として地域に貢献したい

そして自分自身も成長させたい

昭和五十年、それまでおの活動していた女性のサークルが、活動資金の不足を補うと同時に、社会福祉に貢献しようと、協力してチャリティーバザーを開催しました（これが今も続く活動の一つである「愛のチャリティーバザー」の第一回目でした）。このことが引き金となり、昭和五十三年十一月に発足したのが「白石区婦人サークル連絡会」、現在の「白石区女性サークル連絡協議会」です。

この会の目的は、学習活動やボランティア活動など、さまざまな活動を通じて、明るい地域社会を作るために女性として貢献すること、そして自分も含め女性の資質向上を目指すこと。発足時は、「白石区を活動の拠点とするサークル」というのが構成条件でしたが、広く会員を募集して会の活性化を図ろうと、平成十五年度に個人会員制度を設け、目的に賛同する区内在住の女性であれば誰でも参加できるようにになりました。

それぞれサークル活動に力を入れたいと意向から、発足当初は、各サークル間の情報交換が主だった会の活動も、年数が経つにつれ、構成する世代も幅広くなり、また時代背景の変化など、さまざまな要因から多様化しました。

現在の具体的な活動内容としては、男女共同参画をテーマにした講演会や地域の子どもたちを対象にした田植え・稲刈り体験ツアーの実施、ふるさとまつりへの



◀連絡協議会誕生のきっかけを作った「愛のチャリティーバザー」は今年で29回目。毎年11月に行われ、シクラメンやポインセチア、観葉植物など約60種類3千鉢が区民センターロビーに所狭しと並べられる。当初は収益金の一部だったが、現在は全額、区社会福祉協議会に寄贈している

男女共同参画について理解を深めてもらおうと、平成13年度から開催している講演会。区民なら誰でも参加することができる。連絡協議会では、その年の旬なテーマを題材に選び、開催にあたっての準備をすべて行う。また、選んだテーマから最も多いと想定される客層に合わせて、開催する曜日や時間帯などを工夫している



一人では難しくても、仲間とならできる、仕事や家事などの日常とはまったく別の社会参加。大きなことはできなくても、ささいなことでもいい。自分たちが地域のためにできることをやろう。そして自分たちもすてきな女性になろう。